



Windows 版

SAS® 9.3 ライセンス適用の手引き



1. はじめに

この文書は「SAS 9.3 Windows 版」にライセンス情報を適用する方法の説明をしています。これらの作業手順は、弊社テクニカルサポートの Web ページ「インストールセンター」や「KNOWLEDGE BASE」にあるドキュメントにおいて説明していますが、馴染みのない用語や手順があるために、作業をスムーズに進めることができない、または、エラーが発生して作業が滞ってしまうといった事態を極力避けられるように、用語の説明から具体的な作業手順を用いて解説いたします。

1.1. SAS の用語

最初に、SAS システム特有の用語を解説します。

1.1.1. SID とは

SID (SAS Installation Data) とは、SAS ソフトウェアのライセンス認証情報が記載されたテキストファイルです。インストール作業やライセンス更新作業に必要となります。SID は新規契約時もしくは契約更新時にご契約担当者様へ電子メールでお送りします。「SAS Software Order」という文字列を含む件名の電子メールに、次のような名前のテキストファイルが添付されています。このテキストファイルが SID です。

```
SAS93_<オーダー番号>_<テクニカルサポートサイト番号>_<OSの種類>.txt
```

例えば、次のようなファイル名になります。

```
SAS93_9XXX9_12345678_Win_Wrkstn.txt
```

なお、メディアの中には SID が含まれます。この SID は使用期限が 1 ヶ月のみの暫定 SID となっていますので、ライセンス更新が必要となります。

1.1.2. SAS Foundation とは

SAS Foundation とは、Display Manager System (DMS) に統合されたプロダクトの総称です。中核プロダクトである Base SAS に加えて、SAS/STAT、SAS/GRAPH、SAS/ACCESS Interface to などのプロダクトが SAS Foundation に属します。

DMS とは従来提供している SAS プログラムの開発環境です。

2. ユーザーアカウントの確認

SAS の管理作業は、次の条件を満たしたユーザーアカウントで行う必要があります。ここでのユーザーアカウントとは、Windows が搭載されたマシンにログオンする際に使用するユーザー名を指します。

- ・ユーザーアカウントの名前の中に、日本語などの全角文字が含まれないこと
- ・ユーザーアカウントは管理者権限を持っていること

上の条件を満たしていないユーザーアカウントで作業を行うと、エラーの発生などにより作業が失敗する恐れがありますのでご注意ください。本章では、これら条件を満たしていることを確認する方法についてご説明します。

2.1. 全角文字が含まれないことの確認

SAS ソフトウェアの管理作業は、名前の中に全角文字が含まれないユーザーアカウントで行う必要があります。この条件を確認するには、次の手順を実施します。

1. SAS の管理作業を行うユーザーアカウントでログインします。

2. コマンドプロンプトを起動します。

スタートメニュー > すべてのプログラム > アクセサリ > コマンドプロンプト

3. コマンドプロンプトに以下のコマンドを入力して Enter キーを押します。

```
set | find /i "USERNAME"
```

4. 次のような結果画面が表示されます。

```
C:¥>set | find /i "USERNAME"  
USERNAME=sasdemo
```

5. USERNAME=の後に続くユーザーアカウントに全角文字が含まれないことをご確認下さい。

6. ユーザーアカウントに全角文字が含まれている場合は、全角文字が含まれない別のユーザーアカウントを新規で作成する必要があります。この際、既存ユーザーアカウントの名前を変更するだけでは不十分です。必ず新規作成する必要があります。ユーザーアカウントを新規作成する方法については、次の Microsoft

社のページをご覧ください。

[新しいユーザーを作成するには]

<http://support.microsoft.com/kb/880455/ja>

2.2. 管理者権限の確認

SAS ソフトウェアの管理作業は管理者権限を持ったユーザーアカウントで行う必要があります。この条件を確認するには、次の手順を実施します。

1. SAS の管理作業を行うユーザーアカウントでログインします。
2. コマンドプロンプトを起動します。

スタートメニュー > すべてのプログラム > アクセサリ > コマンドプロンプト

3. コマンドプロンプトに以下のコマンドを入力して Enter キーを押します。

```
net localgroup Administrators
```

4. 次のような結果画面が表示されます。

```
C:\>net localgroup Administrators
エイリアス名      Administrators
コメント

メンバー

-----
Administrator
sasdemo
userA
userB

コマンドは正常に終了しました。
```

5. 一覧の中に、使用しているユーザーアカウントの名前、もしくは、使用しているユーザーアカウントが属するユ

ユーザーグループが含まれることを確認します。もし含まれない場合は、使用しているユーザーアカウントは管理者権限を持っていない可能性があります。

6. ユーザーアカウントが管理者権限を持っていない場合、別の管理者権限を持ったユーザーアカウントで OS にログインし直す必要があります。もし、そのようなユーザーアカウントについて心当たりがない場合はシステム担当者へ相談いただく必要があります。

3. ライセンス情報の更新

ライセンス更新とは、SAS を 1 年間利用するための期限を設定する作業です。SAS を継続利用するにあたって一年に一度行います。

3.1. ライセンス更新の準備

ライセンス更新作業を行う前に次の点に関する用意と準備が必要です。

- ・有効な SID の用意
- ・日本語を含まない、管理者権限を持つユーザーアカウントでログインしていること
- ・全ての SAS プロセスを停止すること

3.2. ライセンス更新の手順

ライセンス更新は次の手順に従い行います。

手順ここから -----

1. 管理者権限を持つ、日本語が含まれないユーザーアカウントで OS にログインします。
2. 有効な SID をデスクトップに保存します。
3. SAS ライセンス更新ツールを起動します。

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [SAS] > [Utilities] > [SAS ソフトウェア更新]

Windows XP、Windows Server 2003 の場合:

[SAS ソフトウェア更新] をダブルクリックします。

Windows Vista 以降の OS の場合:

[SAS ソフトウェア更新] を右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

4. 「SAS ソフトウェア更新」 ウィンドウにて、参照ボタンを押します。
5. デスクトップの SID を選択して、開くボタンを押します。
6. SID のパスがロードされます。次へボタンを押します。
7. ライセンス更新対象プロダクトの一覧が表示されます。
プロダクトに相違なければ、OK ボタンを押します。
8. 更新ボタンを押します。
9. 「セットユニットの適用に成功しました」というポップアップが表示されれば、ライセンス適用は成功です。
10. ライセンス更新後の使用期限を確認するには、以後の手順を実施します。
11. SAS 9.3 を起動します。

[スタートメニュー] > [すべてのプログラム] > [SAS] > [SAS 9.3 (日本語)]

12. 拡張エディタに次のプログラムを貼り付けます。
F8 キー、もしくは、サブミットボタンを押してプログラムを実行します。

```
PROC SETINIT NOALIAS;
```

```
RUN;
```

13. ログウィンドウに出力されたメッセージを確認します。
「期限日付」の年月が更新されていることを確認します。

----- 手順ここまで

3.3. ライセンス更新が失敗する場合

ライセンス更新作業中にエラーや警告が発生する場合、以下の点をご確認ください。

確認事項 1: ユーザーアカウントに全角文字が含まれていないことを確認する

日本語などの全角文字が含まれるユーザーアカウントを用いてライセンス更新を行った場合、エラーが発生し、ライセンス更新が失敗します。ユーザーアカウントに日本語が含まれるかどうかを確認する方法は、本特集の 2 章「ユーザーアカウントの確認」にてご説明していますので、今一度ご確認ください。

確認事項 2: 管理者ユーザーでログインしている事を確認する

管理者権限を持たないユーザーアカウントを用いてライセンス更新を行った場合、エラーが発生し、ライセンス更新が失敗します。ユーザーアカウントが管理者権限を持つかどうかを確認する方法は、本特集の 2 章「ユーザーアカウントの確認」にてご説明していますので、今一度ご確認ください。

確認事項 3: SID の改行コードが置き換わっていないか確認する

SID をメール転送する途中で、SID に含まれる改行コードが別の値に置き換わってしまう問題が報告されています。このような状態の SID を用いてライセンス更新を行った場合、警告が発生して進めなくなります。この問題を解消するにあたって、以下の手順を一度実施してください。

1. Microsoft ワードパッドを開きます。

スタートメニュー → すべてのプログラム → アクセサリー → ワードパッド

2. ワードパッドでライセンスファイルを開きます。
3. 末尾の行までカーソルを移動し、改行キーを 3 回押します。
4. 同じファイル名で上書き保存します。
5. ライセンス更新作業をもう一度試します。

確認事項 4: 更新ツールを「管理者として実行」により実行しているか確認する

Windows Vista 以降の OS では、更新ツールを [管理者として実行] により起動する必要があります。通常のダブルクリックで更新ツールを起動した場合、途中でエラーが発生する場合があります。エラーが

発生した場合は一度更新ツールを終了し、[管理者として実行]により起動することでエラーを回避します。
また、関連付けられたファイルをダブルクリックすると、DMS が起動し、SAS プログラムの内容が拡張エディタに格納される動作となります。